

成熟期を迎えた水稲作況調査

9月2日の水稲作況調査では、5月9日植コシヒカリが平年より4日早く成熟期を迎えました。水稲作況調査は毎年同じ耕種概要（品種、作期、施肥等）で栽培し、調査データを蓄積することで、その年の水稲の生育、作柄を平年値、気象条件等と比較して解析する試験です。

本年の水稲は、穂数が少ないものの（平年比90～92）、7月からの高温多照により登熟は良好となり、コシヒカリの収量は平年並～やや良い作柄（平年比100～103）となっています。試験で得られたデータは水稲の高品質化に向けた栽培試験、現場指導のための基礎データとして活用しています。



成熟期を迎えたコシヒカリ（9月2日）

